

[成果情報名]カーネーションの有望品種

[要約]カーネーションの新品種では、スタンダードの‘ガリレオ’‘シベリア’‘アクア’
とスプレアの‘アメリ’‘ウッドストック’が、暖地の6月～7月定植の作型において有望
である。

[キーワード]カーネーション、新品種、スタンダード、スプレー

[担当]静岡県農林技術研究所・伊豆農業研究センター

[代表連絡先]0558-62-0001、電子メールagriminamiizu@pref.shizuoka.lg.jp

[区分]関東東海北陸農業・花き

[分類]技術・普及

[背景・ねらい]

平成19年度に国内外の種苗業者が開発したカーネーション新品種の中から、スタン
ダード24種、スプレー23種、計47種を試作し、主要品種と比較した中で、その特性と本
県への適応性から、有望品種を選定する。

[成果の内容・特徴]

1．スタンダード

- ・‘ガリレオ’は橙色の大輪で、採花開始が早く、秋口でも茎が硬く高品質な切り花が得られ
る。
- ・‘シベリア’は12月上旬の採花開始で収穫初期に軟弱花が見られたが、輪が大きく花色
も鮮明である。
- ・‘アクア’は花色が鮮やかな紫で、11月中に軟弱花が見られたものの良質な切り花が多
く得られる。

2．スプレー

- ・‘アメリ’は収穫初期に切り花長がやや短い傾向であったが、12月から収穫が連続し、
切り花品質も安定している。
- ・‘ウッドストック’は採花開始が11月中旬で収穫初期に軟弱花が見られたが、生産現場
の花色に対する評価が高い。

[成果の活用・留意点]

- 1．暖地のガラス温室における6月下旬～7月上旬定植、1年切り栽培の作型に適する。
- 2．選定された品種は、いずれも種苗業者により種苗法による品種登録が出願されており、
栽培にあたっては各種苗業者との許諾契約が必要である。

第1表 カーネーション選抜品種の切り花特性

1) 品種・系統名	2) 花色	3) 採花開始時期	4) 時期別採花本数(本/株)				5) 上物率(%)	6) 下物率(%) ⁶⁾				10) 日持(日)	11) 切花長	12) 総合評価
			~12月	1~3月	4~5月	合計		7) 軟弱	7) ガク割れ	8) 短茎	9) 花少			
フランセスコ	赤	10月上	3.4	1.8	1.0	6.2	53	40	19	3	-	10.6	長	
ガリレオ	橙	11月中	1.3	3.0	0.7	4.9	98	2	0	0	-	12.0	中	○
シベリア(V172)	白	12月上	2.0	2.0	0.2	4.2	80	4	20	0	-	10.8	中	△
アクア(W48)	紫	11月中	1.0	1.9	1.3	4.2	98	0	2	0	-	14.8	長	△
ライトピンクパーバ	桃	12月上	1.2	3.4	0.2	4.8	92	4	-	0	4	10.0	中	
アメリ	橙	12月上	2.0	2.7	1.0	5.7	94	3	-	0	3	10.2	中	○
ウッドストック	ラベンダー・ビグラーン	11月中	0.7	2.3	0.7	3.7	70	30	-	0	0	7.4	中	△

1) 栽培概要、定植：7月9日、摘心：7月25日、修正摘心：9月7日

2) 標準品種は「フランセスコ」「ライトピンクパーバ」

3) - は条播、/は移植を示す

4) 商品として販売可能な切り花の割合

5) 項目が異なる場合がある。表中の-は調査対象外

6) 下垂度指数が1以上の切り花

7) ガク片の上部が半分以上割れた切り花の割合

8) 切花長が40cm未満の切り花の割合

9) 側花数が3輪未満の切り花の割合

10) 各品種5本、4月中～5月上旬調査、庁舎内の日陰(気温17.1℃～23.1℃、湿度33～76%)に設置し観賞の限界日数を観察

11) 上物の切り花長：70cm以上の切花が60%以上：長 30～60%：中 30%未満：短

12) 採花本数、切り花品質等から総合的に評価 ○：有望 △：やや有望



図1 選定された有望品種

[その他]

研究課題名：養分吸収特性に即したカーネーション灌水同時施肥栽培体系の確立と有望品種の育成選抜

予算区分：県単

研究期間：2006～2010年度

研究担当者：馬場富二夫、稲葉善太郎